

環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業

予定事業者候補者検討結果

平成30年 5月

箕面市環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業  
予定事業者候補者検討会議

## 1 環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業予定事業者の候補者の決定

環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業予定事業者の候補者は、評価項目の総合得点が214.2点であった「グループA」である「荏原環境プラント株式会社」に決定した。

## 2 評価項目の得点の合計

①価格に関する評価及び②価格以外に関する評価の得点を合計した総合得点は、以下のとおりである。

審査項目	配点	グループA
①価格に関する評価	100点	50.0点
②価格以外に関する評価	200点	164.2点
合計	300点	214.2点

## 3 環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業予定事業者の検討

### (1) 応募者グループ

環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業（以下「本事業」という。）における応募者は、「荏原環境プラント株式会社」の1グループであった。事業者名は箕面市環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業予定事業者候補者検討会議においては匿名とし、検討を行った。

### (2) 資格の確認（実績等）

応募者グループから提出された応募者の参加資格要件に関する提出書類について検討し、参加資格を有することを確認した。

### (3) 提案書等の評価

応募者の提案書等は、①価格に関する評価及び②価格以外に関する評価について検討し、①が100点、②が200点の計300点満点で総合的に評価を行った。

①価格に関する評価

あらかじめ公表した算定式により算定した提案金額に関する評価の結果は次のとおりである。

【グループA】

項目	基幹改良工事	長期包括運営委託	合計
入札価格（税別）	4,200,000,000円	11,300,000,000円	15,500,000,000円
予定価格・参考価格（税別）	4,212,000,000円	11,812,000,000円	16,024,000,000円
差額	-12,000,000円	-512,000,000円	-524,000,000円
配点	100点		
評価点	50.0点		

②価格以外に関する評価

価格以外に関する評価の結果は次頁に示すとおりである。

4 講評

別紙のとおり。

評価分類	評価項目	定量・定性 区分	配点	評価点
財務体質等	自己資本比率の状況	定量	15点	12点
	流動比率の状況	定量	2点	2点
	経常利益の状況	定量	6点	2点
	過去3ヶ年の決算状況（赤字の有無）	定量	6点	6点
	キャッシュフローの状況	定量	2点	2点
地域精通度	企業の所在地	定量	2点	2点
市への社会貢献度	市との災害時応援協定等の締結による地域貢献の実績	定量	2点	0点
企業の実績・能力	企業の同種・類似業務の実績	定量	12点	12点
配置予定従事者の 実績・能力	配置予定従事者の保有する資格	定量	2点	2点
	配置予定従事者の業務実績	定量	6点	6点
	配置予定従事者の業務内容に関する 専門知識等	定量	4点	4点
研修体制	研修の実施	定性	4点	3.0点
	適正な履行確保のための研修計画	定性	4点	2.8点
履行体制	適正な履行確保のための業務体制	定性	6点	4.0点
品質保証への取組	品質 ISO 認証の取得状況	定量	4点	4点
	苦情処理体制	定性	2点	1.0点
地域経済への波及 効果	市内居住者の雇用	定性	6点	4.6点
	市内企業からの仕入れ割合	定性	5点	3.4点
	市内企業への外注割合	定性	6点	3.8点
環境への配慮	環境への取組状況	定量	4点	4点
二酸化炭素排出抑 制への取組	二酸化炭素排出量削減率	定量	12点	12点
事業計画	事業全体に関する方策	定性	4点	3.0点
	リスク管理に関する方策	定性	8点	6.0点
	地域社会への貢献に関する方策	定性	3点	1.6点
基幹改良工事	工事の性能に関する方策	定性	4点	3.2点
	環境対策に関する方策	定性	4点	2.8点
	安定処理に関する方策	定性	4点	3.0点
	施工計画に関する方策	定性	4点	3.4点
	安全対策に関する方策	定性	4点	3.0点
	工事实績	定量	12点	12点
長期包括運営委託	管理運営体制に関する方策	定性	6点	4.4点
	運転管理業務に関する方策	定性	4点	3.0点
	維持管理業務に関する方策	定性	8点	6.2点
	環境管理業務に関する方策	定性	2点	1.8点
	情報管理業務に関する方策	定性	2点	1.6点
	防災管理業務に関する方策	定性	2点	1.2点
	契約（業務）期間終了後の引継ぎ	定性	6点	4.8点
	その他の業務	定性	2点	1.6点
長期包括運営委託実績	定量	9点	9点	
合計			200点	164.2点

## 講 評

箕面市環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業  
予定事業者候補者検討会議  
会長 具田 利男

### 1 はじめに

本事業は、「環境クリーンセンター基幹改良工事」と「環境クリーンセンター長期包括運営委託」を一体的に実施する事業である。

「環境クリーンセンター基幹改良工事」は、環境クリーンセンターにおける焼却施設の長寿命化及び施設の運転に伴い発生するエネルギー起源の二酸化炭素排出量の削減を目的とし、主要設備の更新、改良等を実施することで、二酸化炭素排出量の削減を図りながら、今後15年程度の安定稼働を確保するものである。基幹改良工事においては、現状の施設能力270t/日(135t/日×2炉)を240t/日(120t/日×2炉)にサイズダウンし、エコマイザーによる余熱回収量の改善、主要設備、機器の省エネルギー化など様々な対策を導入することで二酸化炭素排出量の削減率を3%以上確保し、国の「二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金(先進的設備導入推進事業)」の交付対象事業として実施する。

「環境クリーンセンター長期包括運営委託」は、箕面市内から排出される一般廃棄物を効率的に処理するため、環境クリーンセンターの運転、維持管理、補修及び更新を含めた包括的な運転維持管理業務を14年6ヶ月の長期期間に亘って実施するもので、環境クリーンセンターの基本性能を常時適切に発揮させ、搬入された一般廃棄物を適正に処理するとともに、事業者の提案による創意工夫のもと、サービスの水準を確保しつつ、市民の理解が得られる安全で効率的な運転維持管理を行うものである。

入札に参加した事業者は1グループであったが、環境クリーンセンターの施設の特徴を十分考慮した提案であり、箕面市環境クリーンセンター基幹改良工事・長期包括運営事業予定事業者候補者検討会議(以下「検討会議」という。)において「落札者決定基準」に基づき慎重に検討を行った結果、以下のとおり落札候補者とした。

### 2 候補者の選定理由

各項目について、評価された主な点は以下のとおりである。

#### (1) 基幹改良工事

- ・環境クリーンセンター焼却施設の現状を踏まえた基幹改良により長寿命化を促進するとともに、二酸化炭素発生量の削減については、国の交付金の対象基準である削減率3%以上を大きく上回る36.5%となっており、評価できる。
- ・設備の過剰な改良等にならないように計画されている。

## (2) 長期包括運営委託

- ・地元雇用率を7割とする計画であることは評価できる。
- ・財務面では安定した利益と経営実績があり、今後も様々な面での効率化を計画していることは評価できる。
- ・他市での実績、経験も豊富であり、特にトラブルもなく、また支援体制も整っており評価できる。

## 3 総括

本事業は、供用開始後26年が経過した環境クリーンセンターの基幹改良工事と施設運営委託を平成30年度から14年6ヶ月間に亘り包括的に委託する事業であり、一般廃棄物を効率的かつ適正に処理することを目的としている。

本事業の募集・選定は、箕面市の規定に則り一般競争入札（総合評価落札方式・入札後資格確認型）で行った。この入札方法は、応募者の創意や工夫を盛り込んだ提案が得られることを期待したものである。

本事業への応募者は荏原環境プラント株式会社の1グループであったが、当該応募者の提案を検討会議として厳格に審査した結果、当該応募者を落札候補者として決定した。

検討会議では、今後の課題点や期待する事項を下記に示すとおり指摘した。箕面市の一般廃棄物処理行政の観点から、重要な役割を担っているという自覚を持ち、今後一層の市民サービス向上に努めることを期待する。

- (1) 本事業は大規模な事業であるため、地元貢献を期待するところである。地元雇用や地元発注についてはこれまで以上の取組みに努めること。
- (2) 地元の若者が将来本事業の責任者を担えるよう育成に努めること。
- (3) 安全管理については、箕面市と密に連絡できる体制を構築すること。
- (4) 基幹改良工事については、提案する二酸化炭素削減率36.5%を確実に達成すること。
- (5) 基幹改良工事の設計に際しては、事前に技術面も含め、具体的な工事の内容を示したうえで十分な協議に努めること。
- (6) 工事の実施、施設の運営にあたっては、事業者が実施するセルフモニタリングも含めて、市と事業者の相互による実践的な事業監視体制の確立に努めること。

以 上